

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスキッズ大津ルーム ぎんなんラボ			
○保護者評価実施期間	2025/12/8		～ 2025/12/19	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数)	15人
○従業者評価実施期間	2025/12/5		～ 2025/12/8	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025/12/22			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ラボに通う子どもたちが楽しい場所と認識して通っていること。	子どもたちが好きな物や興味のある物を取り入れつつ、それぞれの障害特性や現在の課題を考慮して支援を行っている。支援が終わった後に手作りのシールを用意しており、子どもたちのやる気にも繋がっている。	年長になるとお友だちと遊びたいから今日はラボに行きたくないと話す子どもも出てきた。同じ学年のお友だちとの交流が深まってきたという成長を受けとめながら、ラボが楽しい場所、安心できる場所であるという気持ちは変わらないように支援を続けていきたい。
2	幼稚園と連携して支援を進める事が出来、お互いに情報共有しやすい環境であること。	幼稚園の行事の際には見学に行ったり、送迎時の空いた時間に教室の外から子どもたちの様子を見て、ラボと幼稚園での違いや、成長を確認している。	幼稚園と連携しているため、今後は保育所等訪問で幼稚園に居る間の子どもたちのサポートもできたら良いと考えている。
3	フィードバックで保護者の方と話をする時間を設け、支援だけではなく家庭の状況や保護者の悩みを聞ける様にしている。	保育時間内での支援も行っているが、保護者の方の都合の合う日はラボに来てもらいお話が出来るようにしている。幼稚園で言い辛い悩みや困りごとがある際にはラボで相談を受け、状況に応じて別の施設に繋げたり、適切な機関と連携を取りながら保護者の不安解消に繋げている。	今後、進学などラボから卒業する子どもも増えてくるため、次に繋げる機関との繋がりを持って、子どもたちや保護者の方がスムーズに移行できるようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援見学の際に時間が被っている保護者の方同士が話している姿は見られるが、特別保護者同士が関わるイベントが行われていないため、保護者同士の交流が少ない。	ラボに通っていることを公にたくない保護者の方もいるため、保護者同士のイベントを開催するのが難しい。	保護者の方からの要望があれば、親子で参加できるイベントや、保護者の人同士が関わるイベントを開催したいと思う。
2	災害時の避難訓練、安全対策についてあまり保護者の方に周知されていない。	避難訓練は行っているが、3月に実施している。予め、当日の内容を保護者の方に伝えていないため上手く周知が出来ていないのではないかと考える。	必要な活動(避難訓練、イベント)等は予め保護者の方に開催時期を伝えておく。
3			